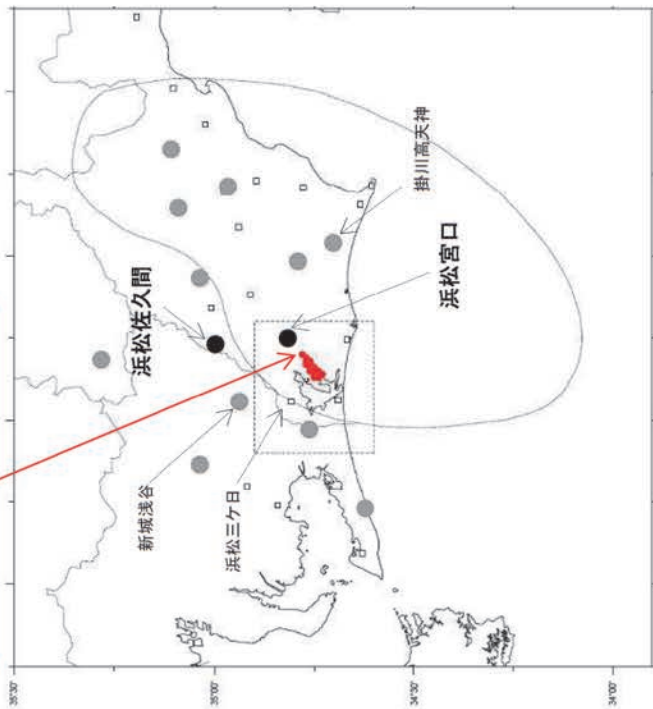


# ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定

ひずみ変化から推定されるすべり候補点

Mw6.3~6.5程度



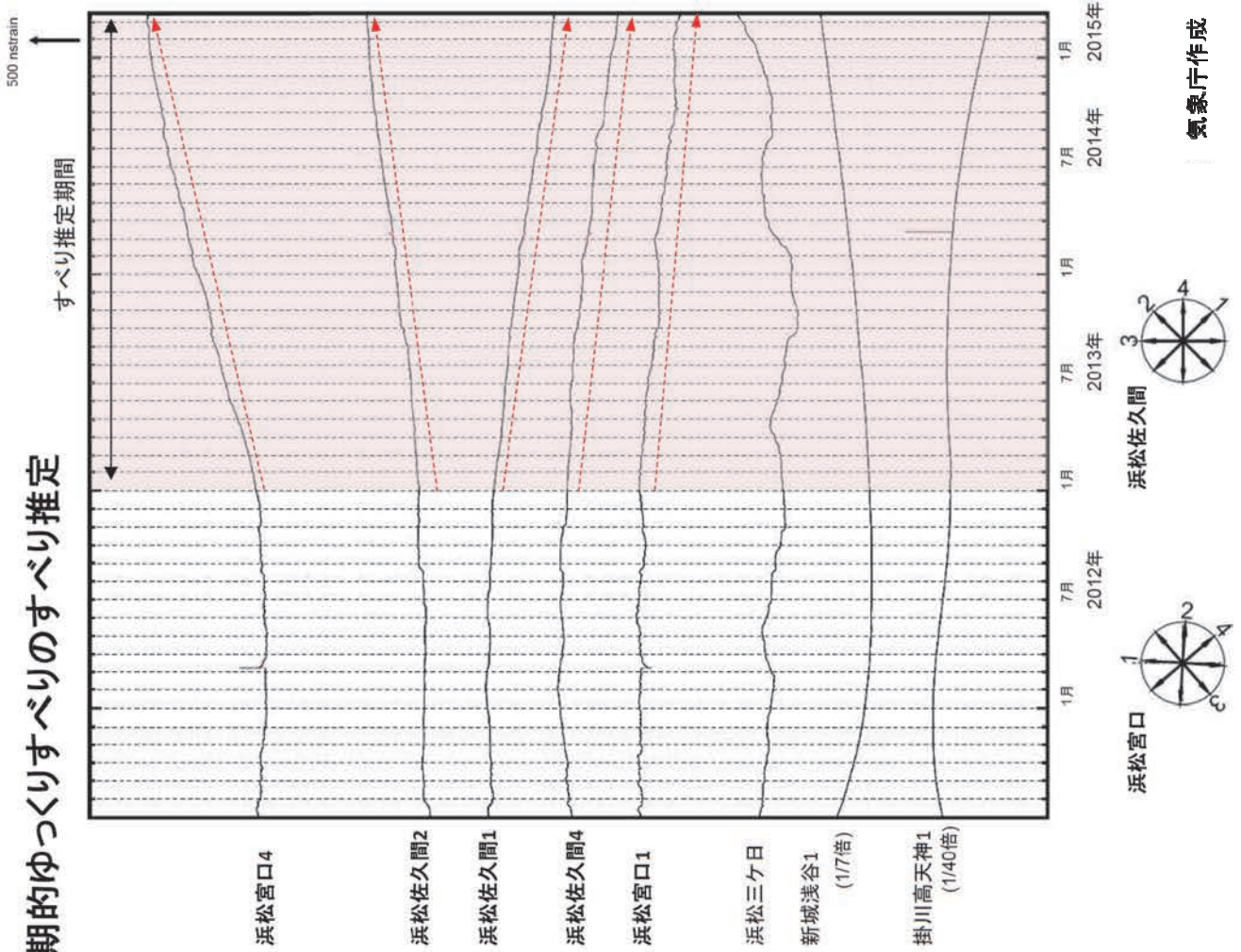
- すべり推定に使用したひずみ観測点(多成分ひずみ計)
- ひずみ観測点(多成分ひずみ計)
- ひずみ観測点(体積ひずみ計)

すべり候補領域は、中村・竹中(2004)<sup>1)</sup>によるグリッドサーチの手法※により求めた。プレート境界と断層面の形状はHirose et al.(2008)<sup>2)</sup>による。

※ すべり候補領域の位置とその規模(Mw)を、すべりがプレート境界上でプレートの沈み込み方向と反対に発生したと仮定し、考え得る全ての解を前提として得られる理論値と観測値を比較し、合致するものを抽出する手法

1) 中村浩二・竹中潤、東海地方のプレート間すべり推定ツールの開発、地震時報、68、25-35、2004

2) Hirose F., J. Nakajima, A. Hasegawa, Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274, 2008



気象庁作成

図5 ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定